

福岡県教育委員会では、児童生徒に国語、算数・数学における基礎基本を含む活用力（基礎的・基本的な知識・技能及び思考力、判断力、表現力等）を育むとともに、地域間の学力向上の取組の差を解消することを目的として、平成25年度から小学校5年生～中学校3年生向けの国語、算数・数学の教材集を作成・配布しました。各学校においては、教材集を授業等で繰り返し活用し、取組の改善が図られてきました。

また、平成28年度からは、学力向上に係る検証改善サイクルを小学校中学年から一層計画的に推進するために、小学校4年生向けの教材集を新たに作成してきました。

この度、中学校学習指導要領（平成29年告示）の全面実施を受けて、教材集の改訂を行いました。

各学校では、授業の中だけでなく、朝の学習の時間や家庭学習等における補充・発展問題として活用していただいているところですが、更に、各問題の特質に応じて、先生方の授業づくりや校内研修の際の参考資料としても活用され、基礎基本を含む活用力の向上に役立てていただくことをお願いします。

令和5年3月

福岡県教育委員会

中学校

国語



追補版

基礎基本を含む活用力を育成する教材集

目次

1	1 単位時間程度で活用する教材（大問）	
1	時間や場の条件に合わせてスピーチをする。 （話すこと・聞くこと）	29
2	多くの人に伝えるための文章の書き方を考える。 （書くこと）	31
3	登場人物の心情や場面の描写をとらえ、自分の考えをまとめる。 （読むこと）	33
大問①～③の出題の趣旨・正答について		35 ～ 37
2	短い時間で活用する教材（小問）	
1	社会生活の中の話題から、自分の経験や知識を整理して考えを話す。 （話すこと・聞くこと）	38
2	効果的な表現を考えて、資料などを活用して話す。 （話すこと・聞くこと）	39
3	文章の形態を選択し、適切な構成を考えて書く。 （書くこと）	40
4	資料を適切に引用して説得力のある文章を書く。 （書くこと）	41
5	場面や登場人物の設定の仕方をとらえて読み取る。 （読むこと）	42
6	構成や展開、表現の仕方について、文章を読み比べる。 （読むこと）	43

小問①～⑥の正答について

44
～
45

第二学年「めあて」時間や場の条件に合わせてスピーチをする。

() 組 () 番 名前 ()

Ⅰ 宮本さんは、学級を代表して、体育館で全校生徒の前で三分間スピーチをすることになりました。次の資料は、学級代表を決めるときに行った一分間スピーチのメモです。これをもとに行われた話し合いの一部を読んで、あとの問いに答えなさい。

■一分間スピーチをしたときのメモ

題名…誰かに言われて心に残った言葉について

○おばあちゃんがかけてくれた言葉「桜梅桃李（おうばいとうり）」

- ・成績が悪いことを気にして、「私は何もできない人間なんだ」と落ち込んでいたときにかけてくれた
- ・私は私のままでいいのだと思えるようになった

■話し合いの一部

渡辺（司会） 二組は、学級代表で宮本さんが三分間スピーチをすることになりました。これから、先日の一分間スピーチをもとに、本番に向けてどのような点を改善すればよいかについて、みなさんの意見をお聞きしたいと思います。

山田 先日の一分間スピーチは、下を向いていて声も少し小さかったせいか、心に残った言葉がよく聞き取れませんでした。「おうばいとうり」でしょうか。それとも「おうばいとうり」ですか。

宮本 「おうばいとうり」です。

山田

阿部 私は、「桜梅桃李」という言葉を初めて聞いたのですが、とてもいい言葉だと思います。普段、誰かと比べて落ち込むことが多いので、この言葉があれば、誰かと比べることなく、自分のやり方がんばれると思うからです。

宮本 そうですね。なぜこの言葉を選んだかと言うと、落ち込んでいたときに、励まされた言葉だからです。

渡辺 なるほど。その部分をさらに詳しく説明すると、スピーチの内容がより印象に残るのではないのでしょうか。他に意見はありませんか。

山口 スピーチ練習をしたほうがいいんじゃないでしょうか。本番は大勢の前で話すのだから、何回も練習しておかないと、緊張してうまく話せないということになるかも知れません。時間も三分と決まっています。

前田 「スピーチ評価カード」を作成したらどうでしょうか。スピーチは、話し手、聞き手があって成立するものだから、私たちも聞き手としてメモを取りながら参加しましょうよ。

渡辺 それでは、「スピーチ評価カード」の内容についてみなさんの意見を聞かせてください。

を聞かせてください。

意見①

問1 山田さんは、スピーチをするときの話し方についてアドバイスをしました。どのようなアドバイスが考えられますか。実際に話すように書きなさい。

問2 宮本さんは、三分間スピーチの冒頭で述べる内容を次のようにまとめました。

私の心に残ったのは、おばあちゃんが言ってくくださった、「桜梅桃李」という言葉です。

これを読んだ木村さんは、敬語の使い方について次のような指摘をしました。それぞれの空欄に入る語句を「」に指定された字数で書きなさい。

家族や友達の前で話すときは「おばあちゃん」でもいいけど、発表の場だから①〔二文字〕にするべきだと思うよ。それから、身内に敬語は使わないよ。②〔二文字〕語の「言ってくくださった」を、③〔六文字〕に直すといいね。

①

②

③

問3 宮本さんは、阿部さんの意見①を聞いて、実際のスピーチでは次のように述べました。阿部さんは何とアドバイスをしたのでしょうか。阿部さんのアドバイスの内容を考えて書きなさい。

■三分間スピーチをしたときのメモ（一部抜粋）

この言葉は、私が、姉と比べて勉強ができないことを気にして、「もう私なんてダメなんだ」と落ち込んでいたときにかけられた言葉です。「桜梅桃李」という言葉の意味も教えてくれました。それを聞いて、「私にしかない良さがあるはずだから、その部分を大切にしよう」と思えるようになりました。

問4 「スピーチ評価カード」の①～③に評価項目を記入し、カードを完成させなさい。

〔話し方について〕

評価項目 (評価はA・B・C)						評価
話題は適切だったか	①	②	③	〽	〽	
	〽	〽	〽	〽	〽	

第二学年「めあて」多くの人に伝えるための文章の書き方を考える。

() () 組 () () 番 名前 () ()

2 松本さんは、これまでの自分を振り返って作文を書くことにしました。【資料1～3】と、作文の下書きを読んで、あとの問いに答えなさい。

【資料1 インタビューカード】 【資料2 年表】

【資料3 社会の出来事】

【母へのインタビュー】
 出産時の体重は3200g / 身長は51cm
 産声の大きな、とても元気な赤ちゃんだった。

【父へのインタビュー】
 幼稚園のとき、柔道教室に参加。初めて柔道着を着たことがよほどうれしかったらしく、練習が終わっても脱ぎたがらなかった。

【祖母へのインタビュー】
 中学生のとき、両親に対してやや反抗的に。一緒に暮らしている祖母には優しくかった。

【祖父へのインタビュー】
 夏休みには毎年、宮崎にいる祖父の家に泊まりに行っていた。5年生からは一人で飛行機に乗って行った。

二〇〇七	0歳	九月十七日に福岡県で誕生
二〇一〇	3歳	幼稚園に入園
二〇一二	5歳	柔道教室に参加
二〇一三	6歳	小学校に入学
二〇一五	8歳	校庭でけが。膝に傷跡が残った
二〇一八	11歳	初めての一人旅(祖父の家へ)
二〇一九	12歳	空手大会優勝
二〇二〇	13歳	サッカー部に入部
二〇二一	14歳	新人戦に出場 初戦敗退で悔しい思いをする
二〇二二	15歳	県大会優勝に向けて家でも練習に励む

① 【2009年】
 若田光一さんが、日本人宇宙飛行士として初の宇宙長期滞在をする。九州大学出身。

② 【2012年】
 ロンドンオリンピックで、松本薫選手が、日本柔道において今大会唯一の金メダルを獲得した。

③ 【2018年】
 本庶佑教授が、ノーベル生理学・医学賞を受賞した。

私は、二〇〇七年の九月十七日に、福岡県の病院で産まれました。母は、「産声の大きな、とても元気な赤ちゃんだったよ」と言っていました。幼稚園の頃で印象に残っているのは、初めて雪に触ったときのことです。それまでは、絵本の中でしか見たことがなかったので、あまりの冷たさに驚いたことを覚えています。

小学校のときの大きな出来事といえば、宮崎に住む祖父の家に、一人で飛行機に乗って遊びに行ったことです。私は、祖父が大好きで、宮崎に行ける夏休みが楽しみでした。飛行機で一時間もかからないのに、その時はかなり長く感じました。

中学生になると、父や母に対して反抗的になり、ささいなことでも言い返すようになってしまいました。来年からは高校生になるので、もっと親孝行したいと思っています。また、三年間続けてきたサッカーを高校になっても続けて、選手として活躍したいと思っています。

問1 インタビューを文章にするときに気を付けることとして、**適当ではないものを全て選びなさい。**

- (1) 誰の発言かを明らかにしなければならない。
- (2) インタビューをした順番に書く。
- (3) 自分にとって都合の悪いことは全て削除する。
- (4) 文章の展開を意識して、誰の話を書けるかを判断する。

問2 松本さんの作文の下書きは、年を追いつながら書かれています。他に、どのような構成で書くことができるかについて、学級で話し合いました。次の会話を読んで、空欄に入る出来事を書きなさい。

中心に構成すると、松本さんが**努力家**だという面が、みんな**を**に伝わるんじゃないかな。



中村さん

についてもっと読みたかった。松本さんにとって特別な体験だよね。それを軸に構成することで、オリジナリティのある作文を書くことができると思う。



山下さん

問3 松本さんは、自分の作文の下書きを読み返して「資料3も使用したほうがよかったのではないのか」と考えました。これについて、次の問いに答えなさい。

- (1) ①②③のカードのうち、松本さんのエピソードと対応させるのに最適なものをどれでしょうか。その理由も書きなさい。

【カード】

【理由】

- (2) 資料3のように、社会の出来事を入れることは、作文全体にどのような効果があるか、考えて書きなさい。

問4 松本さんは、次の一文を加えたいと思いました。作文の下書きのどこに入れるとよいでしょうか。前の文の最後の七字（句点を含む）を書きなさい。

これまで、家族が私のことを支えてくれたことを忘れて、生意気な態度をとったことを反省しています。

第三学年「めあて」登場人物の心情や場面の描写をとらえ、自分の考えをまとめる。

() (組) () (番号前) ()

3 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。(句読点等は字数に数えること。)

客の人数が多いので酒の肴を作るのも大仕事であった。年の暮など夜行で帰って、すぐ台所に立ち、指先の感覚がなくなるほどイカの皮をむき、細かく刻んで樽いっぱい塩辛をつくったこともあった。新田切り換えの苦しい家計の中から、東京の学校へやってもらっている、という負い目があり、その頃の私は本当によく働いた。

働くことは苦にならなかったが、嫌だったのは酔っぱらいの世話であった。

仙台の冬は厳しい。代理店や外交員の人たちは、みぞれまじりの風の中を雪道を歩いて郡部から出て来て、父のねぎらいの言葉を受け、かけつけ三杯でドブロクをひっかける。酔わない方が不思議である。締切の夜など、家中が酒くさかった。

ある朝、起きたら、玄関がいやに寒い。母が玄関のガラス戸を開け放して、敷居に湯をかけている。見ると、酔いつぶれてあけ方帰っていった客が粗相した吐しゃ物が、敷居のところいっぱい凍りついている。

玄関から吹き込む風は、固く凍てついたおもての雪のせいか、こめかみが痛くなるほどに冷たい。赤くふくれて、ひび割れた母の手を見ていたら、急に腹が立ってきた。

「あたしがするから」

汚い仕事だからお母さんがする、というのを突きとばすように押しつけ、敷居の細かいところにつまんだものを爪楊枝で掘り出し始めた。保険会社の支店長というのは、その家族というのは、こんなことまでしなくては暮してゆけないのか。黙って耐えている母にも、させている父にも腹が立った。

気がついたら、すぐうしろの上りかまちのところ父が立っていた。手洗いに起きたのだろう、寝巻に新聞を持ち、素足で立って私が手を動かすのを見ている。

「悪いな」とか「すまないね」とか、今度こそねぎらいの言葉があるだろう。①私は期待したが、父は無言であった。黙って、素足のまま、私が終るまで吹きさらしの玄関に立っていた。

三、四日して、東京へ帰る日がきた。

帰る前の晩、一学期分の小遣いを母から貰う。

あの朝のこともあるので、少しは多くなっているかと数えてみたが、きまりしか入っていなかった。

いつも通り父は仙台駅まで私と弟を送ってきたが、汽車が出る時、ブスツとした顔で、

「じゃあ」

と口ただけで、格別のお言葉はなかった。

ところが、東京へ帰ったら、祖母が「お父さんから手紙が来てるよ」というのである。巻紙に筆で、いつもより改まった文面で、しっかり勉強するようにと書いてあった。終りの方にこれだけは今でも覚えているのだが、「此の度は格別の御働き」という一行があり、そこだけ朱筆で傍線が引かれてあった。

それが父の詫び状であった。

(向田邦子「父の詫び状」による)

大問1～3の出題の趣旨、正答

1 P 29・30

1 出題の趣旨

○ スピーチは、聞き手の共感を得ることが目的である。そのためには、次の三つのことに気を付けなければならない。一つ目は、自分の経験やそこから得たものをできるだけ具体的に伝えること。二つ目は、大きな声ではっきり話すこと。三つ目は、序論・本論・結論の構成にすることである。今回は、三分間スピーチを行う前段階として、一分間スピーチのメモを用意した。それをもとに話し合いを進めながら、一分間で話す場合と三分間で話す場合との内容の違い、教室で話す場合と全校生徒の前で話す場合の声の大きさの違いなどを理解してほしい。それを踏まえた上で、聞き手に伝わるスピーチにすることを目的とした。

2 正答について

問1

① 正答

(例) はっきり口を開けて、前を向いて大きな声で話すと、心に残った言葉が聞き取りやすくなると思います。

○ 解説

教室で聞き取れないものが、体育館で聞き取れるはずがないという指摘。スピーチは、どこで、誰に向けて話すかによって声の大きさや話し方を変えなければならない。

(第3学年 A話すこと・聞くこと(1)ウ)

問2

○ 正答

① 祖母 ② 尊敬 ③ 言ってくれた

○ 解説

場に応じた、ふさわしい言葉遣いとは何か、適切な敬語を使うことができるかを問う問題。普段の会話の延長でスピーチをしようとすると、誤った表現になる。自分にとって感動的な話をしてくれた祖母は、尊敬するに値するが、相手や場に合った言葉遣いをすることに注意する必要がある。

(第3学年 (1)言葉の特徴や使い方に関する事項エ)

問3

○ 正答

(例) この言葉が印象に残った理由を説明するとよいのではないだろうか。

○ 解説

スピーチにおいて、なぜそのことに感動したのかを伝えることは、主題を伝えることにつながるため、説得力が加わる。自分では、分かっていることなので省略してしまいがちである。それを防ぐためにも第三者に事前にスピーチを見てもらい、指摘してもらうとよい。

(第3学年 A話すこと・聞くこと(1)イ)

問4

○ 正答 (例)

① 声の大きさ、表情は適切だったか ② 言葉遣いは適切だったか

③ 時間通りに終わったか

○ 解説

スピーチを評価することで、内容や表現を客観的に捉えることができるようになる。

(第3学年 A話すこと・聞くこと(1)エ)

1 出題の趣旨

○ 「自分史」というものを知っているだろうか。広辞苑では「平凡に暮らしてきた人が、自身のそれまでの生涯を書きつづけたもの」と定義されている。設問の「これまでの自分を振り返った作文」とは、自分史だとも言える。中学三年生という多感な時期にこれを行うことで、新たな自分を再発見でき、よりよい未来を展望できるはずである。今回は、材料として家族へのインタビュー、年表、社会の出来事をピックアップしたカードを用意した。作文を書く際に、資料を効果的に原稿に反映させるにはどうすればよいか、また、自分についての作文を書くためにはどのような構成にすればよいかを考える機会になることを願う。

2 正答について

問1

○ 正答 (2)・(3)

○ 解説

インタビューを原稿にする場合、全体の構成を考え、誰の話をどの段落に配置するかを考えることが大切である。また、あえて失敗談などを盛り込むことで、文章がいきいきするものである。よって全て削除するのは誤りである。

(第3学年 B書くこと(1)ア)

問2

○ 正答

中村さん(例) 空手大会で優勝したときのことや、サッカー部で一生懸命練習してきたこと

山下さん(例) 校庭でけがをしたときのことや、祖父の家に一人で飛行機に乗って遊びに行ったときのことの思い出

○ 解説

何を話題の中心に設定するかによって、全体の流れが変わってくる。自分が書きたい構成をイメージし、それぞれの資料をどのように活用すべきかを判断してほしい。

(第3学年 B書くこと(1)ウ)

問3

○ 正答

(1) 【カード】② 【理由】(例) 柔道の話題が共通しているから。

(2) (例) 自分と社会との関わりを意識する効果。

○ 解説

松本さんの作文に不足しているのは、個人の出来事と社会の出来事の関わりである。不十分な内容は何かに気付く上で、原稿を読み返すことは大切である。

(第3学年 B書くこと(1)エ)

問4

○ 正答 しまいました。

○ 解説

話の流れが不自然にならないように文章を構成しなければならない。反抗期を通じて、家族の大切さに気付いたという流れにする。

(第3学年 B書くこと(1)エ)

1 出題の趣旨

- 娘である筆者と父の心情を読みとることが中心の問題である。寡黙な父と、その父に黙って従う母という両親の関係は、時代の違いを感じることだろう。そんな父親像を踏まえた上でも、父に反発しながらも言いたいことを我慢する「私」の姿は、自分のことのように捉えられるのではないか。娘に素直になれない父親の心情と合わせて読み取ってもらいたい。

2 正答について

問1

○ 正答

- (1) (例) 父の客をもてなすための手伝いをしたことに対する、ねぎらいの言葉があるだろうということ。
 (2) (例) 寒い中、部下の吐しゃ物を必死に掃除する娘の姿を見て、申し訳なくなつたから。(37字)

○ 解説

登場人物の行動から、心情を推測する問題である。父も娘も、本音を心にひめたままではあるが、それぞれの行動を追うことで、心情を理解することができる。娘が、玄関を掃除し、それを父が見つめる場面は、お互いが言いたいことを言えないがゆえに生まれた場面である。

(第3学年 C読むこと(1)イ)

問2

○ 正答

- (例) 父は、娘に直接、素直に謝ったり感謝したりはしないが、娘への手紙に「此の度は格別の御働き」と書くことで、感謝やお詫びの気持ち伝えるようとする誠実な人物だと考える。(80字)

○ 解説

文章を読んで、父の人物像に触れつつ、「私」への心情を明らかにする問題である。「父の性格」を表現するには、文中の行動をたどつていくと分かるだろう。父からの手紙が短いのは、何か言いたくても言えない言葉があるのではないかと考えると解答を導くことができる。

(第3学年 C読むこと(1)エ)

《出典『向田邦子全集』向田邦子著 一九八七年文藝春秋より》

第二学年「めあて」効果的な表現を考えて、資料などを活用して話す。

() () 組 () () 番 名前 () ()

2 石川さんは、次の【A】・【B】の記事をもとに、スピーチをすることにしました。「話題」「材料メモ」を参考に、スピーチの「構成メモ」を作りなさい。

【A】1964年 東京オリンピック決まる

一回で34票獲得 聖火、アジアに初めて

一九六四年のオリンピック夏季大会開催地は「東京」と決定した。第五十五回国際オリンピック委員会（IOC）総会四日目の二十六日午前十一時半（日本時間午後七時半）冬季大会開催立候補地の説明を終えた直後、冬季、夏季両大会の表決を行い、夏季大会立候補四都市中、東京は総数58票のうち第一回で34票という圧倒的な票を獲得してローマの次の大会開催地と決まった。他都市はデトロイト10票、ウィーン9票、ブリュッセル5票。東京はアジアで初めてのオリンピック開催地の栄誉をかちえたわけである。

突如発表「トウキョウ」

東京オリンピックは予想以上にあっさり決まった。全くあつけないほどの決まり方だった。はじめの予想では東京時間の午前零時ごろ、それもひよつとするとつれるかもしれないということだった。だから東京をはじめ現地の関係者もまさかこんなうまくことが運ぶとは考えもつかなかったようだ。読売新聞社は「東京」決定前後の同夜十時と十一時、ミュンヘンのレシナ・パラスト・ホテルに日本オリンピック委員会田畑政治総務主事と水上、赤羽臨時特派員を国際電話で呼出し、運動評論家川本信正氏と現地の模様、これからの問題を語り合ってもらった。(一九五九年五月二十七日付読売新聞)

【B】東京五輪決定

2020年開催56年ぶり

2020年夏季五輪・パラリンピックの開催都市を選ぶ国際オリンピック委員会（IOC）総会が7日（日本時間8日）、ブエノスアイレスで開かれ、IOC委員による投票の結果、東京に決まった。

20年大会の招致レースは、東京とイスタンブール（トルコ）、マドリッド（スペイン）の3都市が横一線のまま最終選考に突入。「安全、安心」「確実な運営」を訴えた東京が、イスタンブールとの決選投票を60対36の大差で制し、16年招致に続く接戦で、1964年以来、56年ぶりとなる夏季五輪の開催を勝ち取った。日本での五輪開催は72年札幌、98年長野の冬季五輪と合わせて、4回目。

東京は競技会場が集中するコンパクトな開催計画や、高い輸送能力、4000億円の積み立てなど高い開催能力をアピールし、「イスラム圏初の五輪」を目指したイスタンブールを退けた。(二〇一三年九月八日付読売新聞特別号外)

■話題

・「東京オリンピック開催決定」の新聞を比較して気付いたこと

■材料メモ

- ・【A】【B】どちらも『オリンピックを「勝ち取った」と表現している。開催地争いは時代に関係なく激しかった。』
- ・国民の関心の高さは変わらない。

・【B】にはパラリンピックの表記があるが、【A】にはない。

■構成メモ

【はじめ】

（空欄）

【なか】

（空欄）

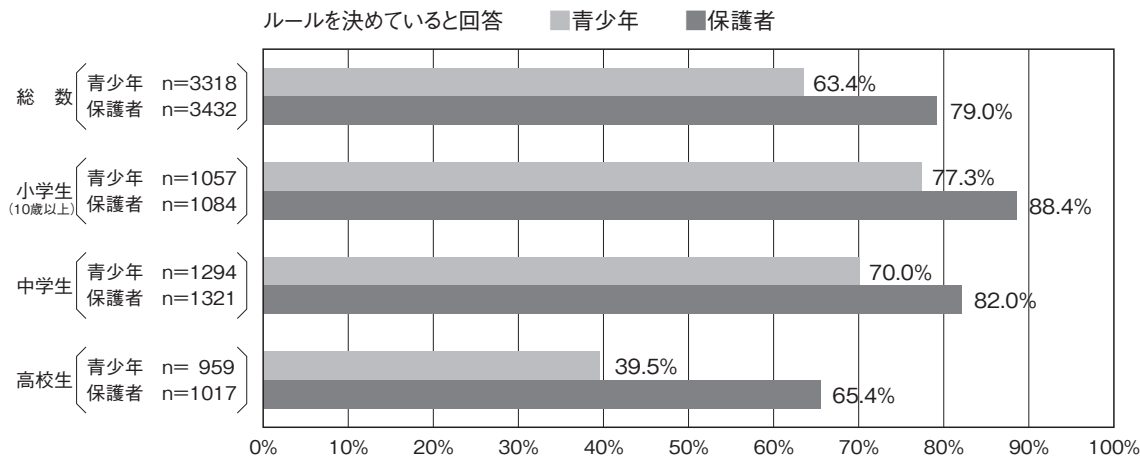
【終わり】

（空欄）

インターネット利用に関する家庭のルールの有無 (青少年とその保護者のルールの有無に関する認識の比較)

4

次の資料は、インターネット利用に関して、家庭でルールを設けているかどうかを調べたものです。これを読んで、あとの問いに答えなさい。



「令和3年度 青少年のインターネット利用環境実態調査 調査結果（速報）（令和4年2月 内閣府）」より

第二学年【めあて】資料を適切に引用して説得力のある文章を書く。

() 組 () 番 名前 ()

問 調査の結果を踏まえて、インターネット利用に関して、家庭でルールを設けるべきかどうか、あなたの意見を書きなさい。ただし、【条件】に従うこと。

【条件】

- ・ 三段落構成とし、十三行以上、十五行以内で、原稿用紙の正しい使い方に従って書くこと。
- ・ 第一段落には資料から読み取ったことを書くこと。
- ・ 第二段落には、あなたの経験を踏まえた調査結果の分析を書くこと。
- ・ 第三段落には、第一、第二段落を踏まえ、あなたの意見を書くこと。

15 13

第三学年「めあて」場面や登場人物の設定の仕方をとらえて読み取る。

() (組) () (番号) (名前) ()

5 次は、天人が、かぐや姫が天に戻る前の様子を示している場面です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

天人の中に持たせたる箱あり。天の羽衣入れり。またあるは、不死の薬入れり。一人の天人^A言ひ、「壺^{つぼ}なる御薬奉れ。きたなき所のもの聞こしめしたれば、御心地あしからむものぞ。」とて、^①持て寄りたれば、

^Bわづかなめ給ひて、少し形見とて、脱ぎ置く衣に包まむとすれば、ある天人包ませず。御衣^{みぞ}を取り出でて^②着せむとす。そのときに、かぐや姫「しばし待て。」と言ふ。「衣着せつる人は、心異になるなりといふ。ものひとこと言ひ置くべきことありけり。」と言ひて、^③文書く。天人、「遅し。」と^④心もとながり給ひ。かぐや姫、「もの知らぬこと、なのたまひそ。」とて、いみじく静かにおほやけに御文奉り給ふ。^⑤あわてぬさまなり。

【現代語訳】

天人の中の一人に、持たせている箱がある。その中には「天の羽衣」が入っている。また、不死の薬も入っている。一人の天人が「壺に入っているお薬をお飲みください。けがれた人間界のものを召し上がっていただくので、ご気分が悪いでしょう。」と言って、壺に入った薬を持ってきたので、かぐや姫は少しおなめになって、形見として少しの薬を、脱いで置く着物に包もうとしたところ、天人がそれをさせない。そして、「天の羽衣」を取り出して着せようとする。その時、かぐや姫は「少しお待ちなさい。」と言う。「天の羽衣を着せられた人は、人間の心とは違った心になってしまふと言います。その前に、ひと言、言い残しておかなければならないことがあります。」と言って、手紙を書く。天人は「遅い。」とじれったがりなさる。しかし、かぐや姫は「ものの道理を理解なさらないことをおっしゃるな。」と言って、たいそう静かに帝^{みかど}にお手紙を書いて差し上げなさる。落ち着いた様子である。

問1 ——— 線部①～⑤の主語は、天人または姫のどちらですか。それぞれ、

誰が主語かを考え、番号を答えなさい。

天人

姫

問2 A・Bの語句を現代仮名遣いに直し、全て平仮名で書きなさい。

A

B

問3 かぐや姫は、なぜ「しばし待て。」と言ったのでしょうか。「人間の心」という言葉を用いて、その理由を書きなさい。

理由

第二学年「めあて」構成や展開、表現の仕方について、文章を読み比べる。

() (組) () (番号前) ()

6 次の鑑賞文は、中原中也の二つの詩を読み比べて書いたものです。空欄に、語句や文章を入れて完成させなさい。

【A】

いちじくの、葉が夕空にくろぐろと、
風に吹かれて
隙間より、空あらはれる
美しい、前歯一本欠け落ちた
をみな^{*}のやうに、姿勢よく
ゆふべの空に立ちつくす

―わたくしは、がっかりとして
わたしの過去のごちやごちやと
積みかさなつた思ひ出の
ほごす^{*}すべなく、いらだつて、
やがては、頭の重みの 現在感に
身を託し^{たく}、心も託し、

なにもかも、いはぬこととし、
このゆふべ、ふきすぐる風に頸^{うなじ}ざらし、
夕空に、くろぐろはためく
いちじくの、木末^{こぎら} みあげて、
なにものか、知らぬものへの
愛情のかぎりをつくす。
*1…若く美しい女性 *2…理解する

【B】

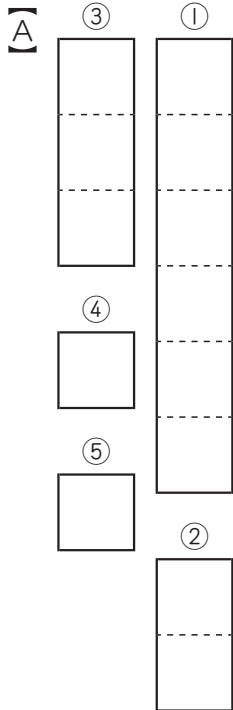
夏の午前よ、いちじくの葉よ、
葉は、乾いてゐる、ねむげな色をして
風が吹くと揺れてゐる、
よわい枝をもつてゐる……

僕は睡^{ねむ}らうか……
電線は空を走る
その電線からのやうに遠く蝉^{せみ}は鳴いてゐる

葉は乾いてゐる、
風が吹いてくると揺れてゐる
葉は葉で揺れ、枝としても揺れてゐる
僕は睡^{ねむ}らうか……
空はしづかに音^ねく、
陽は雲の中に這^{はい}入つてゐる、
電線は打つづいてゐる
蝉の声は遠くでしてゐる
懐かしきものみな去ると。

*注…「音」は原文のままである

この二つの詩は、①②③④⑤という同じ題名が付いていますが、詠まれた時間帯と構成に違いがあります。【A】は①②に詠まれており、【B】は③④⑤です。また、【A】は③④⑤連ですが、【B】は③④⑤連になっています。なぜこのような違いがあるのかというと、作者の心情が【A】と【B】で異なるからです。そこで私は、両方の詩の最後の部分に注目しました。【A】は、
 について詠
 しています。同じ①②を詠んでいながら、全く違う詩のようにな
 っているのです。作者の表現力は素晴らしいなと思いました。



【A】

【B】

小問①～⑥の正答

【話すこと・聞くこと】

① P 38 (例)

みなさんは、友達に助けられたことはありませんか。私は、木村さんの発表を聞いて、中学二年生のときに、文化祭の実行委員をやったときのことを思い出しました。話し合いがなかなかまとまらずにいると、Iさんが「ちゃんと考えようよ」と声をかけてくれたのです。一瞬クラスが静まりかえり、そこから少しずつ意見が出始めました。展示の準備も、Iさんは前日の放課後まで残って手伝ってくれました。文化祭の当日の達成感は忘れることができません。それがきっかけで仲良くなったIさんと、これからもずっと友達でいたいと思います。(二百四十七字)

② P 39

【はじめ】

(例)「東京オリンピック開催決定」について伝えた、五十五年前の新聞と比較した。

【なか】

- ・(例) どちらも「勝ち取った」という表現を用いているため、開催地に選ばれるのは、とても難しいことが分かる。
- ・(例) どちらも選ばれる経緯や決定の瞬間が細かく伝えられていることから、国民の関心の高さが分かる。
- ・(例) パラリンピックは、現在は福祉的な面だけではなく、スポーツとして浸透している。

【終わり】

- ・(例) オリンピックが自国で開催されることは、いつの時代も大変な話題になると感じたと同時に、障害をもった方も、スポーツ選手として競えるようになったことは、素晴らしいと思った。

【書くこと】

③ P 40

問1 ①経験 ②大切

問2

(例) 私は、学級全員で過ごす時間をつくるべきだと思います。なぜなら、修学旅行は、集団行動の練習をする場であり、そこから学ぶこともたくさんあるからです。自然教室でも、学級全員で同じ体験をしたことで、結束力が生まれ、友情の素晴らしさを感じることができました。個性を大切にすることも必要ですが、共に行動することで、新たな友人関係を築く方が意義があると考えます。それが中学校生活のよい思い出になるのではないのでしょうか。

4 P 41

(例) (十五行)

資料から、ルールを決めているという回答は、どの年代においても、保護者は青少年を上回っていることが分かる。

保護者は、子供ときちんと話した上でインターネットを使用させていると思っても、実は子供は、それほど真剣に聞いていないのではないだろうか。私も、インターネットの安全面で気を付けることなどを親と話したが、とりあえず返事をしていたような気がする。

しかし、私は、インターネット利用に関して、家庭でルールを設けるべきだと思う。インターネットによる事件に巻き込まれることなく、安全に利用できることが大切だと思うから。親と話したことを、もう一度見直して、ルールを守って使っていきたい。

5 P 42

問1 天人 ①②④ 姫 ③⑤

問2 Aいう Bわずか

問3 (例) かぐや姫は、人間界で暮らす間に、人間の心を持つようになったため、その心を持っているうちに、帝に手紙を書きたいと思ったから。

6 P 43

①いちじくの葉 ②夕方 ③午前中 ④三 ⑤四

【A】(例) なにもものか、知らぬものへの愛情

【B】(例) 懐かしいものがみな去っていくという寂しさ